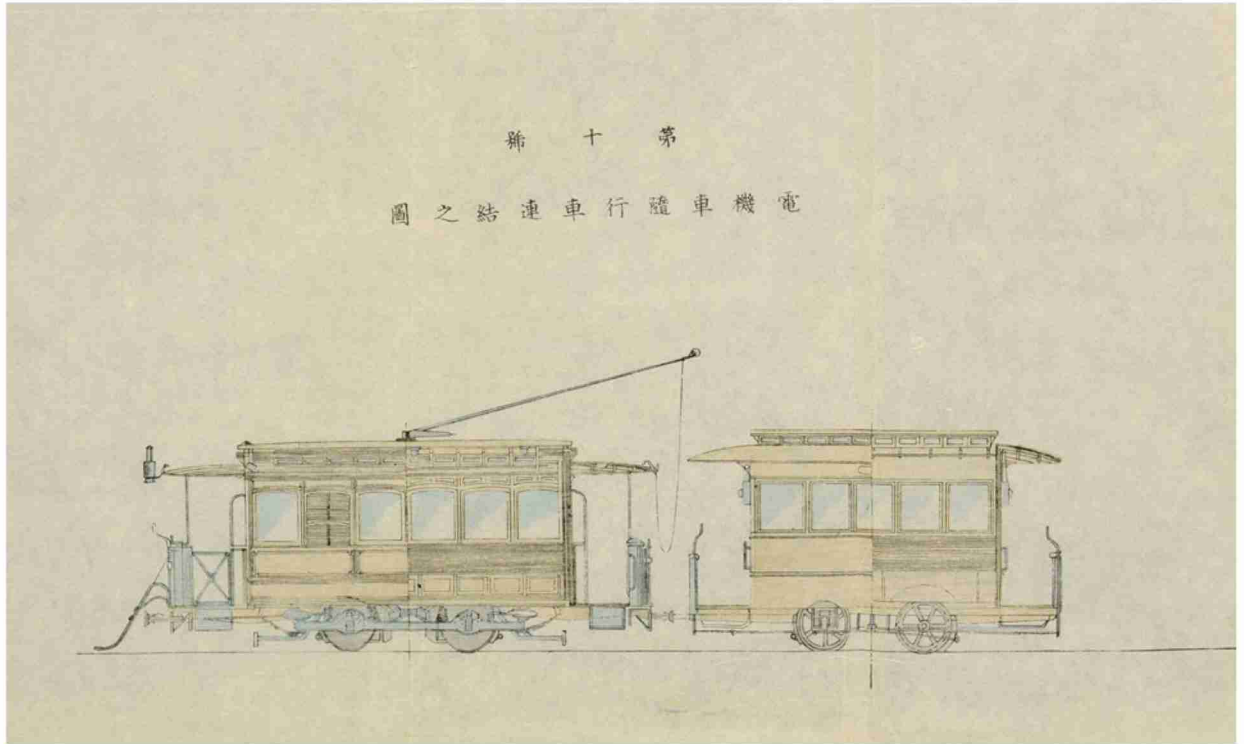


市街鉄道認可までの長い道程



「電機車隨行車連結の圖」『第1種 文書類纂・土木・第4類・鉄道・第2巻』

明治26年（1893）多くの発起人グループから、電気を動力とした首都東京の市街鉄道について出願が相次ぎ、並行して東京市直営論も検討されるなど、議論は紛糾して認可までに長い時を要しました。

ようやく、明治33年以降、段階的に特許が認められ、同37年に至って東京電車鉄道（元の東京馬車鉄道）・東京市街鉄道・東京電気鉄道の3社が営業を開始、本格的な市街鉄道の時代が到来しました。